

## 2 「力みなぎる・やまなし」の実現

# 「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	2	「力みなぎる・やまなし」の実現
----------	---	-----------------

政策	1	「やまなしブランド」の確立と販路拡大	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	15	
<p><b>【政策推進に当たっての基本的考え方】</b></p> <p>本県は、大消費地である東京圏に隣接するという地理的優位性を備えるとともに、果樹やワイン、宝飾など、県内外に誇れる「すぐれもの」を豊富に有しています。</p> <p>こうした「すぐれもの＝やまなしブランド」を、さらに多く創り出すとともに、その情報を、全国へ、世界へと発信し、販路の拡大を図ります。</p>					
平成20年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ やまなしブランド戦略の展開		P. 20	観 光 部	
	○ やまなしサポーターズ倶楽部交流会の開催		P. 20	観 光 部	
	○ 県産ワイン懇話会の開催		P. 21	商 工 労 働 部	
	○ 「インターテキスタイル上海」出展支援		P. 21	商 工 労 働 部	
	○ 醸造用ぶどう栽培・醸造技術エキスパートの養成		P. 22	商工労働部・農政部	
	○ やまなし輸出促進センターの設置		P. 22	農 政 部	
	○ 台湾食品見本市フードタイペイ 2008 への出展		P. 22	農 政 部	
	○ 国産ワインコンクールの開催		P. 23	商 工 労 働 部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			755 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			308 百万円	
	前年度までの事業費			143 百万円	
	本年度の事業費			165 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	ワイン生産額	282 億円 (H17)	308 億円 (H22)	293 億円 (H19)	42.3
	県産果実の輸出額	177 百万円 (H18)	380 百万円 (H22)	189 百万円 (H20)	5.9

## 主要な施策の成果

施策・事業名 <b>【担当課名等】</b>	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
1 やまなしブランド戦略の展開  <b>【観光企画・ブランド推進課】</b>	千円 企画総務費 ( 9,700) 8,974	<p>平成19年11月に策定した「やまなしブランド戦略」の展開の一環として、本県のイメージアップを効果的に図るため、有識者による「クリエイターズ会議」及び「広報PR戦略庁内研究会」を設置して検討を重ね、「やまなしブランド・広報PR戦略」を策定し、推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やまなしブランド・クリエイターズ会議の設置(東京1、山梨1) 平成20年5月</li> <li>・やまなしブランド・クリエイターズ会議の開催 3回(東京2回、山梨1回)</li> <li>・やまなしブランド・広報PR戦略庁内研究会の設置 平成20年5月</li> <li>・やまなしブランド・広報PR戦略庁内研究会の開催 5回</li> <li>・やまなしブランド・広報PR戦略の策定 平成20年8月</li> </ul>
2 やまなし大使による情報発信  <b>【観光企画・ブランド推進課】</b>	企画総務費 ( 8,300) 7,741	<p>本県のイメージアップを図るため、本県にゆかりのある在京の経済人等を「やまなし大使」に委嘱し、ワインやジュエリー等の「すぐれもの」の良さを実感していただく交流会を開催し、本県の魅力の全国発信を促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やまなしサポーターズ倶楽部交流会の開催 平成20年9月</li> <li>・やまなし大使 640人(平成21年3月末現在) 県に関する定期的な情報の提供 4回</li> </ul>
3 地域資源の活用促進  <b>【産業支援課】</b>	———	<p>新たなやまなしブランドの創出を促進するため、中小企業による地域資源を活用した新商品開発を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想の変更 平成20年7月</li> <li>・地域資源活用事業計画の策定支援・認定 4件</li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
4 富士山ブランドの推進  【産業支援課】	千円 商工総務費 ( 200)  200	富士山ブランドを確立するため、富士山ロゴマークの普及を図るとともに、ロゴマークを取り込んだ地場産品を「御当地ブランド」として全国へ情報発信し、販路拡大を図った。  ・ホームページによる情報発信（更新 平成 21 年 3 月） ・ロゴマークの使用承認 29 件
5 やまなしブランドチャレンジへの支援  【産業支援課】	商工総務費 ( 15,000)  10,991	中小企業のグループ等が新たなやまなしブランドづくりに積極的に挑戦できるよう、これらの企業が行う産地ブランドの形成や販路の開拓、海外への展開などの取り組みに対して支援した。  ・産地ブランドの形成、販路開拓、海外展開への支援 10 件
6 ワインやまなしブランドの促進  【産業支援課】	商工総務費 ( 3,500)  2,628	ワイン産地山梨のブランドイメージの確立と販路開拓を促進するため、国内外での商談会等の販路開拓事業を支援し、ブランドイメージのさらなる向上を図った。  ・県産ワイン懇話会の開催 2 回 ・首都圏試飲・商談会の開催支援 平成 20 年 11 月、12 月
7 繊維やまなしブランドの促進  【産業支援課】	商工総務費 ( 5,000)  5,000	本県を代表する繊維産業の産地ブランドを確立するため、協同組合が行うやまなしブランド製品の開発や販路開拓などの取り組みに対して支援した。  ・新製品の開発、販路開拓等への支援 ・「インターテキスタイル上海」出展支援 平成 20 年 10 月 ・「ジャパンテックス(東京)」出展支援 平成 20 年 11 月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
8 ワイン産地確立の推進  【産業支援課】 【果樹食品流通課】	千円 商工振興費 ( 58,708) 55,477  果樹園芸等振興費 ( 19,592) 15,245	<p>ワイン産地山梨のブランド力の相対的な低下をくい止め、世界一流のワイン産地としての地位を確立するため、県産ワインの高品質化、ブランド化、消費拡大に向けての取り組みを推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワイナリーの栽培・醸造技術向上への支援 海外一流技術者の招聘 平成20年7月 醸造技術重点指導の支援 対象ワイナリー5社 醸造技術エキスパートの養成 フランス研修1人 平成20年8月～12月</li> <li>・県醸造用ぶどうの高品質化の推進 栽培エキスパートの養成 フランス研修1人 平成21年1月～</li> <li>・県産ワイン高品質化の推進 若手醸造家・農家研究会開催支援</li> <li>・県産ワインキャンペーン等の開催支援 新酒ワインまつり 平成20年11月 県産ワインキャンペーン JR中央線車内広告</li> </ul>
9 県産果実の輸出戦略プランの推進  【果樹食品流通課】 【農産物販売戦略室】	果樹園芸等振興費 ( 7,270) 6,586	<p>県産果実の販路拡大を図るため、関係団体が実施する輸出プロモーション活動や情報収集活動を支援した。また、農協が実施する検疫措置に対応できる選果体制の整備を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・果樹王国やまなし輸出戦略プランの推進 やまなし輸出促進センターの設置 平成20年4月 台湾食品見本市フードタイペイ2008への出展 平成20年6月</li> <li>・輸出プロモーション活動の推進 香港バイヤーの招聘による産地PRの実施 平成20年12月 テスト輸出の促進 香港、シンガポール外4ヶ国</li> <li>・輸出向け果実選果体制整備への支援 選果機材等の整備 2JA16施設</li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
10 国産ワインコンクールの開催支援  【産業支援課】	千円 商工総務費 ( 7,000) 5,733	国産ワインの品質と認知度の向上を図るとともに、ワイン産地山梨の地位を将来にわたり確固たるものとするため、関係団体が実施する国産ワインコンクールの開催を支援した。  ・国産ワインコンクールの開催支援 審査会（出品数 622 本） 平成 20 年 7 月 表彰式・公開テイスティング（受賞数 269 本） 平成 20 年 8 月
11 山梨県オリジナル品種の普及推進  【果樹食品流通課】	果樹園芸等振興費 ( 806) 806	オリジナル品種の産地化と市場への定着を促進するため、オリジナル品種開発推進会議が実施する、オウトウ「富士あかね」の苗木増殖と、スモモ「サマービュート」、「サマーエンジェル」、モモ「夢しずく」のPR活動等を支援した。  ・オリジナル品種の産地化推進 苗木の確保増殖 6,736 本 PRポスター、オリジナル品種栽培の手引きの作成
12 食のやまなし販売促進への支援  【果樹食品流通課】 【農産物販売戦略室】	農業総務費 ( 14,000) 14,000	本県農産物のイメージアップと消費拡大を図るため、山梨県農畜産物販売強化対策協議会が実施する、「知事のトップセールス」や「県オリジナル品種、有望品種、特産農産物」の効果的なPRの取り組みを支援した。  ・大消費地市場でのトップセールス 平成 20 年 7 月 (京都市中央卸売市場) ・県産青果物市場懇談会の開催支援 平成 20 年 7 月 関西地区卸売会社等 参加 15 社 ・ホームページによる全国への情報発信

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
13 やまなし特選農産物の認証 【果樹食品流通課】	千円 農業総務費 ( 456) 274	本県農産物のブランド化を推進するため、高品質な農畜産物に一定の基準を設け、全国に誇りうるやまなし特選農産物として認証し、普及・宣伝活動を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特選農産物の出荷の拡大 出荷団体 24 団体</li> <li>・関係団体との連携による普及・宣伝活動</li> </ul> 平成 20 年 7 月～21 年 2 月 京浜・関西地区の主要卸売市場
14 県産材のブランド化による販路拡大 【林業振興課】	林業振興指導費 ( 470) 470	県産材の生産力を高め、利用を促進していくため、生産地や加工・流通履歴を明確にする「県産材認証制度」等によるブランド化を図り、住宅建築への利用拡大を進めた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県産ラベリング材の普及促進</li> </ul> 認証システム登録事業者新規認定数 3 件 認証システム登録事業者年次審査数 61 件
15 ジュエリーややまなしブランドの促進 【産業支援課】	商工総務費 ( 3,000) 3,000	ジュエリー産業における産地ブランドの確立と販路開拓を図るため、関係団体を実施する宝飾展「輝きの祭典」における「産地ブランド新製品」の発表・販路拡大活動に対して支援した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新製品等の販路開拓等への支援</li> </ul> 輝きの祭典（甲府ジュエリーフェア&大宝飾展） 平成 20 年 4 月

## 「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	2	「力みなぎる・やまなし」の実現
----------	---	-----------------

政策	2	未来につながるはつらつとした農業の振興	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	16	
<p><b>【政策推進に当たっての基本的考え方】</b>          本県では、果樹を中心に、高度な技術に立脚した収益性の高い農業が営まれています。また、四季折々を彩る素晴らしい農村景観が形成されています。          こうした優れた農業の一層の振興を図り、全国に誇りうる農村景観を保全していくため、担い手の確保・育成や大消費地への販路拡大、地産地消、鳥獣害防止対策への取り組みを進めます。</p>					
平成20年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ やまなし農業ルネサンス大綱の推進		P.26	農 政 部	
	○ 果樹生産基盤再生整備計画の策定支援		P.26	農 政 部	
	○ 果樹園の整備		P.26	農 政 部	
	○ 大規模農業経営体の育成		P.26	農 政 部	
	○ 参入企業に対する支援		P.26	農 政 部	
	○ 農業大学校の再編整備		P.27	農 政 部	
	○ 山梨県耕作放棄地再生活用指針の策定		P.27	農 政 部	
	○ 普及指導体制の見直し		P.28	農 政 部	
	○ 鳥獣害防止総合計画の促進		P.30	農 政 部	
○ 電気柵等の鳥獣害防止施設の整備		P.30	農 政 部		
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）		25,980 百万円		
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		11,868 百万円		
	前年度までの事業費		3,131 百万円		
	本年度の事業費		8,737 百万円		
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	新規就農者数	71 人 (H18)	100 人 (H22)	82 人 (H20)	37.9
	農産物直売所の販売額	3,500 百万円 (H18)	5,000 百万円 (H22)	4,379 百万円 (H20)	58.6

## 主要な施策の成果

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
1 「やまなし農業ルネサンス大綱」の推進  【農政総務課】	千円 ———	将来に期待が持てる農業の確立と農村の活性化を図り、山梨の農業を再生するため、10年先を目標とする振興指針である「やまなし農業ルネサンス大綱」を推進した。 ・「やまなし農業ルネサンス大綱」の推進 やまなし農業ルネサンス大綱推進会議の開催 4回
2 果樹生産基盤の再生の推進  【果樹食品流通課】 【耕地課】	果樹園芸等振興費 ( 360) 161  土地改良費 ( 21,000) 9,418	果樹産地における生産性の向上や担い手への農地集積を図るため、地区ごとに再生整備実施計画の策定を支援し、生産基盤の再生に向けた取り組みを行った。 ・果樹生産基盤再生整備計画の策定支援 48 ha ・果樹園の整備 20 ha
3 企業の農業経営の推進  【農業技術課】 【耕地課】	農業改良普及費 ( 4,205) 1,664  土地改良費 ( 50,000) 24,500	効率的な農業経営が可能となる経営体を育成するため、農業経営体の大規模化への支援に加え、経営能力や人材等を備える企業の参入を促進した。 ・大規模農業経営体の育成 3法人 ・参入企業に対する支援 農業参入相談活動 延べ34件 農業参入セミナーの開催 平成21年2月 農業生産基盤整備への支援 江草地区 外1地区

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
4 就農支援対策の強化 【農業技術課】	千円 農業改良普及費 ( 8,168) 8,168	地域農業の維持・発展のため、青年農業者や退職帰農者、Uターン就農希望者など多様な担い手の確保・育成に努めた。 ・就農相談窓口のワンストップ化のための就農支援センターの運営 相談会の開催 10回 ・農業大学校の再編整備 専門学校化、カリキュラムの充実 職業訓練農業科の定員増
5 農村女性の担い手養成と起業化の促進 【農業技術課】	農業改良普及費 ( 1,601) 1,419	将来の農業・農村の担い手を確保するため、若手女性リーダーの発掘・育成を図るとともに、農村女性の起業化を促進した。 ・女性担い手養成研修会の開催 4地区 ・農村女性起業塾の開催 6回
6 農業生産基盤の整備推進 【耕地課】	土地改良費 ( 9,413,314) 8,367,561 [ 1,045,753]	果樹をはじめとするやまなしの農業を発展させるため、農作物の栽培や出荷に適した基盤整備を推進し、果樹栽培を中心とした日本一の農業を目指した。 ・畑地帯の総合的な整備 85ha 明野地区 外26地区 ・基幹農道の整備 茅ヶ岳東部地区 外4地区
7 耕作放棄地の再生活用の促進 【農村振興課】	農業総務費 ( 13,200) 2,570	優良農地を確保し、農村景観の保全を図るため、耕作放棄地の解消に向けた県指針を策定した。また、耕作放棄地を5ヶ年で再生活用する市町村計画の策定や計画に基づく耕作放棄地の解消対策を促進した。 ・「山梨県耕作放棄地再生活用指針」の策定 平成20年6月 ・市町村耕作放棄地再生活用計画の促進 28市町村

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
8 やまなしバーチャルショップによる産直の促進 【果樹食品流通課】	千円 農業総務費 ( 164) 164	山梨が誇る農産物や加工品の販路を拡大し、生産者の所得アップを図るため、関係団体が実施する全国の消費者に直接販売できる流通システムの運営に対して支援した。 ・やまなしバーチャルショップ運営への支援
9 環境保全型農業への支援 【農業技術課】	農業改良普及費 ( 10,683) 9,582	農業生産における環境負荷を軽減し、環境保全型農業の発展を図るため、地域における化学肥料・化学農薬を低減する取り組みを支援した。 ・農地・水・環境保全向上対策による営農活動の実施 186 ha
10 有機農業導入の推進 【農業技術課】	総合農業技術センター費 ( 2,500) 1,987	有機農業に多くの農業者が取り組めるよう、推進協議会の設置や推進計画の策定を行うとともに、有機栽培技術の研究・実証を進めた。 ・山梨県有機農業推進協議会の設置 平成 21 年 1 月 ・山梨県有機農業推進計画の策定 平成 21 年 3 月 ・有機栽培技術の研究・実証 3 品目
11 農業普及指導活動の充実・強化 【農業技術課】	農業改良普及費 ( 40,651) 38,597	農業経営や栽培技術等に係る、農業者からの相談に一層応えられるよう、地域の業務内容等に対応した人員の再配置や、農家の問い合わせ先の明確化を図るなど、普及指導体制の見直しを行った。 ・普及指導体制の見直し 普及センターの名称表示 地域普及センターの普及指導担当者の増員 専門指導スタッフの設置 J A 営農指導との連携強化（営農支援幹の設置）



施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
16 鳥獣害防止対策の強化  【森林整備課】 【農業技術課】 【耕地課】	千円 農業改良普及費 ( 719) 554  総合農業技術センター費 ( 2,798) 2,798  土地改良費 ( 206,687) 206,687  造林費 ( 2,312) 2,312	野生鳥獣による農作物への被害を防止するため、地域ぐるみによる防止対策の推進を図るとともに、効果的な被害防止施設の整備を支援した。 ・鳥獣害防止総合計画の促進 27市町村 ・鳥獣害防止技術指導員の養成 認定者 79人 ・電気柵等の鳥獣害防止施設の整備 延長 38 km 対象 ニホンジカ、イノシシ、ニホンザル ・人と動物との緩衝帯の設置 韮崎市 除伐 14.5 ha 南アルプス市 除伐 8.6 ha

## 「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	2	「力みなぎる・やまなし」の実現
----------	---	-----------------

政策	3	健全な森づくりと力強い林業の振興	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	12	
<p><b>【政策推進に当たっての基本的考え方】</b>          県土面積の約78%を占める森林は、木材の供給をはじめ県土の保全、水源のかん養、地球温暖化の防止など多面的機能を有しており、豊かで潤いのある県民生活の礎になっています。しかし、その機能の発揮のために重要な役割を果たす林業生産活動が停滞していることから、森林の荒廃が懸念されています。このため、県産材の地産地消や販路の拡大などを進め、林業の振興を図るとともに、森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう豊かな森づくりを進めます。</p>					
平成20年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 造林の実施、支援		P.32	森 林 環 境 部	
	○ 保安林の改良、保育		P.32	森 林 環 境 部	
	○ 公的関与による森林整備の実施		P.32	森 林 環 境 部	
	○ 低コスト作業路の作設		P.32	森 林 環 境 部	
	○ 路網整備の推進		P.33	森 林 環 境 部	
	○ 林業新規就労者の参入促進		P.33	森 林 環 境 部	
	○ 流域木材安定供給協議会の開催		P.33	森 林 環 境 部	
	○ 水源環境保全・再生に係る神奈川県との連絡協議会開催		P.34	企画部・森林環境部	
	○ 企業や団体による森づくり活動に対する支援		P.34	森 林 環 境 部	
○ 県産材の住宅建築への利用促進		P.34	森 林 環 境 部		
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			19,890 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			10,963 百万円	
	前年度までの事業費			5,858 百万円	
	本年度の事業費			5,105 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	素材生産量	56 千m <sup>3</sup> (H17)	73 千m <sup>3</sup> (H22)	84 千m <sup>3</sup> (H20)	164.7

## 主要な施策の成果

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
1 造林事業の推進  【森林整備課】 【県有林課】	千円 造林費 ( 641,145) 623,500 [ 17,645]	森林の有する多面的機能の発揮のため、民有林及び県有林において計画的に間伐などの森林整備を推進した。 ・造林の実施、支援 2,706 ha 県有林 1,540 ha (甲府市 外 19 市町村) 民有林 1,166 ha (甲府市 外 26 市町村)
2 保安林整備事業の推進  【県有林課】 【治山林道課】	治山費 ( 409,262) 409,262	保安林の適正な管理を行い、公益的機能を高度に発揮させるため、植栽、本数調整伐、下刈り等を推進した。 ・保安林の改良 87 ha ・保安林の保育 1,102 ha 保安林の状況 (平成 21 年 3 月末現在) 水源かん養保安林 163,703 ha 土砂流出防備保安林 34,823 ha 土砂崩壊防備保安林 13 ha その他保安林 1,619 ha
3 環境公益林整備の推進  【森林整備課】	造林費 ( 306,864) 236,982 [ 69,882]	水源かん養等公益的機能を高度に発揮させるため、手入れ不足により荒廃した私有林を公的関与により整備した。 ・公的関与による森林整備 (間伐等) の実施 960 ha 環境公益林整備支援事業の実績 2,752 ha (平成 18 年度～平成 20 年度)
4 低コスト間伐システムの推進  【森林整備課】	———	間伐を推進するため、低コストで耐久性の高い作業路の整備を推進した。 ・簡易作業路作設士の認定 10 人 (累計 23 人) 認定講習会の開催 平成 20 年 8 月～9 月 延べ 16 日間 ・低コスト作業路の作設 延長 2.4 km

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
5 松くい虫防除 対策の促進  【森林整備課】	千円 林業振興指導費 ( 45,899) 45,899  造林費 ( 107,411) 107,411	松くい虫による被害を防除するため、駆除及び予防 対策を進めた。 ・伐倒駆除、樹幹注入 6,330m <sup>3</sup>
6 路網整備の推 進  【森林整備課】 【県有林課】 【治山林道課】	林道費 ( 2,815,145) 2,815,145  造林費 ( 32,700) 32,700	森づくりを支える山村の活性化と効率的な林業を推 進するため、林内路網を整備した。 ・林道の新設 林道三石山線外 20 路線 延長 11.6 km ・林道の改良、舗装 林道小武川線外 15 路線 延長 8.4 km ・作業道等の整備 甲府市上帯那地区外 10 路線 延長 7.3 km
7 担い手確保対 策の推進  【林業振興課】	林業振興指導費 ( 29,756) 26,069	森林整備の担い手である林業労働者の確保のため、 労働環境の整備を図るとともに森林組合等林業事業体 の育成を図った。 ・新規就労者の参入促進 48 人 ・労働安全衛生研修会の開催 3 回 ・森林組合の指導・育成 11 組合
8 県産材の安定 供給と新たな マーケットの開拓  【林業振興課】	林業振興指導費 ( 2,160) 2,160	県産材の安定供給を促進するため、県内 3 流域の拠 点を中心に需給情報の分析、提供を進めるとともに、 他県との連携による広域流通対策や販売促進活動など を推進した。 ・流域木材安定供給協議会の開催 3 協議会 6 回 ・販売促進活動（マーケティング事業）への支援 2 流域 ・素材流通協議会の開催 1 協議会 4 回

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
9 神奈川県との相互連携の推進  <b>【企画課】</b> <b>【森林環境総務課】</b>	千円 ———	<p>桂川・相模川流域の水源環境保全・再生を図るため、山梨県及び神奈川県の連携のもと、必要な取り組みを推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「水源環境保全・再生に係る山梨県と神奈川県との連絡協議会」の開催 2回</li> <li>・流域環境共同調査の実施 私有林現況調査、水質汚濁負荷量調査</li> </ul>
10 企業や団体による森づくり活動の推進  <b>【みどり自然課】</b>	緑のふるさと推進事業費 ( 614) 614	<p>企業や団体をはじめ、県民総参加による森づくりを推進するため、森づくり活動の相談窓口として「やまなし森づくりコミッション」が行う、関係機関との連絡調整や活動場所の紹介、森づくりに関する企画の提案等の活動に対して支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業や団体による森づくり活動に対する支援 31箇所</li> </ul>
11 県産材の地産地消の推進  <b>【林業振興課】</b>	林業振興指導費 ( 13,760) 13,760	<p>木のぬくもりに満ちた快適な環境を提供するため、県産材住宅の利用促進等の取り組みに対して支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県産材の住宅建築への利用促進 住宅相談会の開催 6回 県産材住宅に関する研究会の開催 5回 PR活動の実施 9回 県産柱・内装材の提供戸数 47戸</li> </ul>
12 間伐材の有効利用の促進  <b>【治山林道課】</b>	治山費 ( 95,883) 95,883	<p>間伐材の需要拡大のため、未利用小径木を治山工事の型枠として使用するなど、間伐材の有効利用を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木製治山ダム型枠の試験施工 8基</li> <li>・木製治山ダム型枠の本格導入の検討 歩掛調査の実施</li> </ul>

## 「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	2	「力みなぎる・やまなし」の実現
----------	---	-----------------

政策	4	地域とくらしを豊かにする中小企業の振興	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	15		
<p><b>【政策推進に当たっての基本的考え方】</b>                  魅力ある地域社会を築き、県民の豊かな暮らしを実現していくためには、県内経済の活性化が不可欠です。また、経済の成長なくして、県財政の再建はありません。活力ある山梨経済の実現に向け、本県に集積する機械電子工業や地場中小企業の技術力の向上や製品開発・受注機会の拡大に向けた取り組みなどを推進し、県内産業の振興を図ります。</p>						
平成20年度の主な取り組み状況	項 目			頁	担当部局	
	○ 山梨大学工学部への地域産業リーダー養成特別枠の設置			P. 36	商工労働部	
	○ 技術系人材育成への支援			P. 36	商工労働部	
	○ 商工業振興資金の融資			P. 36	商工労働部	
	○ 経済変動対策融資の拡充			P. 36	商工労働部	
	○ やまなしグッドデザインの公募・選定			P. 37	商工労働部	
	○ 中小企業への窓口相談、出張相談等の実施			P. 37	商工労働部	
	○ ものづくり人材育成研修の実施			P. 38	商工労働部	
	○ 宝石美術専門学校の移転整備			P. 39	商工労働部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			74,290 百万円		
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			27,518 百万円		
	前年度までの事業費			12,940 百万円		
	本年度の事業費			14,578 百万円		
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称		基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	従業員1人当たりの製造品出荷額等 (従業員数4～299人の事業所)		2,258 万円 (H18)	2,542 万円 (H22)	2,386 万円 (H19)	45.1

## 主要な施策の成果

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要																								
1 技術系人材等の確保・育成対策の推進  【産業人材課】	千円 企業立地対策費 ( 500) 225	本県経済を活性化するため、推進会議を設置して企業の人材確保対策の充実や人材育成への支援を図った。 ・推進会議の開催 2回 ・人材確保対策の実施 山梨大学工学部への地域産業リーダー養成特別枠の設置 ・人材育成への支援 企業のニーズに合ったオーダーメイド型訓練の拡充																								
2 中小企業への金融支援  【商業振興金融課】 【産業支援課】	資金貸付金 (商工業振興) (資金特別会計) ( 13,313,813) 13,313,011  小規模企業者等設備導入資金貸付金 (中小企業近代化) (資金特別会計) ( 1,650,000) 555,954  県単独中小企業設備貸与資金貸付金 (中小企業近代化) (資金特別会計) ( 360,000) 171,187	中小企業者の経営の安定化を図るため、金融機関と連携し、事業活動に必要な資金の貸付や設備貸与を行った。 ・商工業振興資金の融資 3,245件 38,060,117千円 ・経済変動対策融資の拡充 (上記の内数) 2,246件 33,445,894千円 (千円) <table border="1" data-bbox="678 1348 1430 1803"> <thead> <tr> <th>資金名</th> <th>予算額</th> <th>決算額</th> <th>融資額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経営安定資金</td> <td>13,098,413</td> <td>13,098,282</td> <td>37,329,222</td> </tr> <tr> <td>地場中小企業等育成資金</td> <td>101,400</td> <td>101,392</td> <td>304,150</td> </tr> <tr> <td>新産業開発資金</td> <td>84,000</td> <td>83,858</td> <td>356,000</td> </tr> <tr> <td>環境・雇用対策資金</td> <td>30,000</td> <td>29,479</td> <td>70,745</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13,313,813</td> <td>13,313,011</td> <td>38,060,117</td> </tr> </tbody> </table> ・小規模企業者等設備導入資金による設備のリース等 84件 1,607,461千円	資金名	予算額	決算額	融資額	経営安定資金	13,098,413	13,098,282	37,329,222	地場中小企業等育成資金	101,400	101,392	304,150	新産業開発資金	84,000	83,858	356,000	環境・雇用対策資金	30,000	29,479	70,745	合計	13,313,813	13,313,011	38,060,117
資金名	予算額	決算額	融資額																							
経営安定資金	13,098,413	13,098,282	37,329,222																							
地場中小企業等育成資金	101,400	101,392	304,150																							
新産業開発資金	84,000	83,858	356,000																							
環境・雇用対策資金	30,000	29,479	70,745																							
合計	13,313,813	13,313,011	38,060,117																							

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
3 ものづくり産業への支援 【産業支援課】	千円 商工総務費 ( 70,308) 61,459	<p>中小企業の製品開発・受注機会の拡大を図るため、新技術・新製品の研究開発に対して支援するとともに、新技術開発に向けた産学官の連携を強化した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新技術・新製品の開発への支援 4件</li> <li>・産学官連携で行う新技術・新製品の開発への支援 5件</li> </ul>
4 産業デザインの振興 【産業支援課】	中小企業指導費 ( 2,456) 2,234	<p>新しいやまなしブランドとなる製品づくりを進めるため、製品デザインを募集し、優れたデザインについて製品開発を促進するとともに、デザイン戦略セミナーを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やまなしグッドデザインの公募・選定 応募 145点</li> <li>・製品開発への支援 入賞作品の試作及び製品開発企業 1件</li> <li>・デザイン戦略セミナーの開催 平成 20 年 11 月 参加者 74 人</li> </ul>
5 中小企業サポートセンターへの支援 【産業支援課】	商工総務費 ( 104,290) 99,643	<p>中小企業の受注機会の拡大や、新商品・新サービス開発等の取り組みを促進するため、中小企業サポートセンターが行う総合的な相談支援体制の整備などに対して支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口相談、出張相談等の実施 3,142 件</li> <li>・専門家の派遣 68 社延べ 453 日</li> <li>・下請取引のあっ旋 200 件</li> </ul>
6 新分野開拓チャレンジ企業への支援 【産業支援課】	商工総務費 ( 17,362) 12,014	<p>中小企業の経営革新を促進するため、経営革新計画に基づき行う製品開発や販路拡大等の取り組みに対して支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営革新計画の審査承認件数 25 件 累計 286 件 (平成 21 年 3 月末現在)</li> <li>・製品化へ向けた研究開発への支援 2 件</li> <li>・新製品の販路拡大への支援 2 件</li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
7 基盤的技術産業集積活性化の推進  【商工企画課】	千円 商工総務費 ( 42,251) 41,008	「ものづくり」の基盤となる産業の集積とその活性化を図るため、技術の高度化や新技術の開発などに取り組む事業者に対して、技術・人材の両面から支援した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくり人材育成研修の実施 平成 20 年 6 月～11 月 27 講座 受講者 362 人</li> <li>・創造的中小企業への技術的支援 3 件</li> <li>・技術高度化支援開放機器の整備 1 件</li> </ul>
8 仕事と家庭の両立支援の推進  【労政雇用課】	労働福祉費 ( 630) 630	勤労者福祉の充実を図るため、就業規則等の整備に関する講習会や個別相談会を開催するなど、企業における仕事と家庭の両立支援を推進した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・講習会の開催 3 回 受講者 58 人</li> <li>・個別相談会の開催 18 回</li> </ul>
9 公共職業訓練の推進  【産業人材課】	職業能力開発校費 ( 227,750) 201,547	製造業や情報産業等の技術力の向上に資するため、技術革新に対応できる高度な職業能力を身につけた人材を育成した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業技術短期大学校における専門訓練の実施 4 学科 修了者 72 人</li> <li>・各技術専門校における養成訓練の実施 4 学科 修了者 40 人</li> <li>・各職業能力開発施設における向上訓練の実施 114 コース 修了者 1,837 人</li> </ul>
10 民間職業能力開発の促進  【産業人材課】	職業能力開発振興費 ( 48,906) 29,957	中小企業の技術力の向上を図るため、企業等の自主的な教育訓練を支援するなど、民間における職業能力開発を促進した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定職業訓練校への支援 訓練実施に係る助成 20 校</li> <li>・地場中小企業の人材育成への支援 助成金の給付 7 事業所</li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
11 公共工事における県内企業の優先活用  【技術管理課】	千円 ——	公共工事において下請負を行う場合は、県内企業を優先して活用するよう事業者には要請し、中小企業の育成等を図った。 ・契約図書への反映 一次下請け工事に占める県内業者割合 87.2% (平成20年4月～平成21年1月)
12 トライアル発注の推進  【産業支援課】	——	中小企業の製品開発を促進するため、県内中小企業者が生産した優れた新商品の販路開拓を支援した。 ・新事業分野開拓者の認定 7件
13 公共工事における建設資材等の県内優先調達  【技術管理課】	——	公共工事において建設資材を調達する場合は、県内製造品等を優先して使用するよう事業者には要請し、中小製造業等の育成等を図った。 ・契約図書への反映
14 宝石美術専門学校の移転整備  【産業支援課】	宝石美術専門学校費 ( 18,900) 18,900	国際的に通用する企画・開発力を持った人材を育成するため、宝石美術専門学校の移転整備の準備を行うとともに、デザイン分野の強化と新たなマネジメント分野の導入を図った。 ・基本実施設計 平成20年11月
15 県立大学におけるデザイン講座の実施  【私学文書課】	大 学 費 ( 325) 323	地場工業製品の高付加価値化や差別化を図るため、学生や県民・企業が参加できるデザイン講座(公開講座)を県立大学で実施し、学習機会のさらなる充実を図った。 ・県立大学における公開講座の実施 平成21年1～3月 3回 参加者219人



## 「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	2	「力みなぎる・やまなし」の実現
----------	---	-----------------

政策	5	新産業創出への支援	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	10	
<p><b>【政策推進に当たっての基本的考え方】</b>          本県産業の活性化を図るため、ベンチャー企業の育成や産学官の連携による研究開発の推進など、新産業創出に向けた取り組みを進めます。          また、企業が県内に来てくれるのを待つといった「待ちの姿勢」から脱却し、将来性のある優良な県外企業の積極的な誘致に努めます。</p>					
平成20年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 山梨みらいファンドの組成		P.42	商工労働部	
	○ 山梨みらいファンドによる開業資金等の助成		P.42	商工労働部	
	○ 分散型クリーンエネルギーシステムの共同研究		P.44	企画部	
	○ 燃料電池研究を支援するための研究施設整備		P.44	企画部	
	○ やまなし燃料電池推進会議の開催		P.44	企画部	
	○ 情報通信関連企業立地への支援		P.44	企画部	
	○ 産業集積促進助成金の運用		P.45	商工労働部	
	○ 中部横断道沿線地域活性化構想の策定		P.45	知事政策局	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			9,115 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			3,683 百万円	
	前年度までの事業費			1,770 百万円	
	本年度の事業費			1,913 百万円	
数値目標の達成状況	数値目標の名称	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	企業誘致数 (行動計画期間中の累計)	—	50 件 (H22)	41 件 (H20)	82.0

## 主要な施策の成果

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
1 ファンドの活用促進等による創業支援  【産業支援課】	千円 ———	将来大きな成長が期待できるベンチャー企業を支援するための「やまなしベンチャーファンド」の活用を促進するとともに、「やまなしみらいファンド」を組成し、創業時に必要な資金の供給等を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・やまなしベンチャーファンドの活用促進 投資件数 1件</li> <li>・山梨みらいファンドの組成 平成20年9月</li> <li>・開業資金の助成 2件</li> <li>・新製品の研究開発への助成 1件</li> <li>・新製品の販路開拓への助成 1件</li> <li>・全国展示会への出展助成 7件</li> </ul>
2 インキュベータ事業の推進  【産業支援課】	商工総務費 ( 471) 471	起業家やベンチャー企業を育成するため、事業用スペースを貸与するインキュベータ施設において、事業の立ち上がりを総合的に支援した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・インキュベーションルームの活用 8室</li> <li>・経営・技術相談、取引あっ旋 インキュベーションマネージャーによる指導 延べ16日</li> </ul>
3 やまなし科学技術基本計画の推進  【企画課】	企画総務費 ( 1,473) 1,068	本県の科学技術を一層発展させていくため、科学技術に関する現状や課題、今後の方向等を盛り込んだ「やまなし科学技術基本計画」に基づく諸施策・事業を推進した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来の科学者訪問セミナーの実施 小・中・高等学校20校</li> <li>・やまなし科学技術月間の実施 平成20年11月</li> </ul>
4 試験研究機能の強化  【企画課】 【衛生薬務課】 【森林環境総務課】 【商工企画課】 【花き農水産課】	企画総務費 ( 28,868) 19,902	工業技術センターをはじめとする試験研究機関の機能を強化するため、機器の計画的な整備などを推進するとともに、新産業の創出や新技術開発に向け、研究テーマの選別や研究予算の重点的な投入を推進した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・機器等の計画的整備 9試験研究機関</li> <li>・研究予算の重点化 35事業</li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要																																																																																													
<b>【農業技術課】</b>  千円 <b>公害対策費</b> ( 540) 483  <b>水産業振興費</b> ( 1,174) 874  <b>総合農業技術センター費</b> ( 11,218) 9,668  <b>果樹試験場費</b> ( 20,605) 20,092  <b>畜産試験場費</b> ( 1,427) 1,297  <b>酪農試験場費</b> ( 455) 454  <b>林業試験費</b> ( 937) 937  <b>商工総務費</b> ( 67,211) 60,411  <b>工業試験費</b> ( 87,016) 73,361	平成 20 年度重点化事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>研究テーマ</th> <th>試験研究機関</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>人工衛星データを用いた緑被率推定手法の開発及び都市環境の変化と緑被率の関係の解明</td> <td>環境科学研究所</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>甲州種ワインの高品質化に向けた栽培・醸造条件の確立</td> <td rowspan="3">工業技術センター</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>鉛フリーはんだ実装基板に対する信頼性試験データの蓄積と県内企業への普及</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>燃料電池用金属セパレータの性能向上</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>電子ビーム照射処理による新たな金型表面処理法の開発</td> <td rowspan="2">富士工業技術センター</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>プラスチック廃棄物の粉体化技術の開発と廃プラスチック再利用化の促進</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>肥料の適正使用に活用できる支援システムの開発</td> <td rowspan="2">総合農業技術センター</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>本県産スイートコーンのブランド化実現のための鮮度保持手法と品質評価技術の開発</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>温暖化に伴うオウトウの生産安定技術の開発</td> <td rowspan="2">果樹試験場</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>ブドウの「かすり症」発生抑制技術の確立</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>夏季の高温環境と心理的ストレスによる健康影響の解析と熱中症警報システムの構築</td> <td rowspan="3">環境科学研究所</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>富士山火山防災のための観測・データ収集と溶岩流シミュレーションの開発</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>木質内装材が人の心と体に与える影響の解明</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>緊急を要する森林虫害の軽減法の解明と被害材活用法の確立</td> <td>森林総合研究所</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>宝鉱石向け研磨加工工具の内製化手法の確立</td> <td rowspan="3">工業技術センター</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>組み込みシステム向け開発環境の整備</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>製品開発における3次元デジタルデータの交換技術の確立</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>電解処理法による微細構造体作製技術の開発</td> <td rowspan="3">富士工業技術センター</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>射出成形技術を用いた高性能新型燃料電池用セパレータの開発</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>射出成形金型の新規洗浄技術の開発</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>小型コショウランのオリジナル品種の育成及び生産者の栽培技術の確立</td> <td rowspan="3">総合農業技術センター</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>花木鉢物の新商材の開発</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>野菜類の有機栽培技術の確立</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>「生食用ブドウ」新品種の育成</td> <td rowspan="3">果樹試験場</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>モモの果肉障害発生抑制技術の確立</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>ブドウの着色向上技術の開発</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>抗生物質を使用しない高品質ブロイラー生産技術の確立</td> <td>畜産試験場</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>自然公園内における湖沼の水質の向上に関する研究</td> <td>衛生公害研究所 環境科学研究所 水産技術センター</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>自然環境のもたらす保健休養上の効用に関する研究</td> <td>環境科学研究所 工業技術センター</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>野生動物による被害の防除に関する研究</td> <td>環境科学研究所 森林総合研究所 水産技術センター</td> </tr> <tr> <td>31</td> <td>酸化亜鉛透明導電膜の成膜プロセス開発と有効活用に関する研究</td> <td>工業技術センター 富士工業技術センター</td> </tr> <tr> <td>32</td> <td>地域農産素材等の機能的解明と高付加価値製品の開発</td> <td>酪農試験場</td> </tr> <tr> <td>33</td> <td>ブドウ絞り滓を活用した家畜排せつ物の堆肥化および環境負荷低減化技術の開発</td> <td>環境科学研究所 富士工業技術センター 総合農業技術センター 畜産試験場</td> </tr> <tr> <td>34</td> <td>人工光利用による施設栽培ブドウの高品質化技術の開発</td> <td>果樹試験場 工業技術センター</td> </tr> <tr> <td>35</td> <td>甲府盆地飲用地下水を中心とする水質特性の時系列解析および新規地下水調査</td> <td>衛生公害研究所 環境科学研究所 富士工業技術センター</td> </tr> </tbody> </table>		研究テーマ	試験研究機関	1	人工衛星データを用いた緑被率推定手法の開発及び都市環境の変化と緑被率の関係の解明	環境科学研究所	2	甲州種ワインの高品質化に向けた栽培・醸造条件の確立	工業技術センター	3	鉛フリーはんだ実装基板に対する信頼性試験データの蓄積と県内企業への普及	4	燃料電池用金属セパレータの性能向上	5	電子ビーム照射処理による新たな金型表面処理法の開発	富士工業技術センター	6	プラスチック廃棄物の粉体化技術の開発と廃プラスチック再利用化の促進	7	肥料の適正使用に活用できる支援システムの開発	総合農業技術センター	8	本県産スイートコーンのブランド化実現のための鮮度保持手法と品質評価技術の開発	9	温暖化に伴うオウトウの生産安定技術の開発	果樹試験場	10	ブドウの「かすり症」発生抑制技術の確立	11	夏季の高温環境と心理的ストレスによる健康影響の解析と熱中症警報システムの構築	環境科学研究所	12	富士山火山防災のための観測・データ収集と溶岩流シミュレーションの開発	13	木質内装材が人の心と体に与える影響の解明	14	緊急を要する森林虫害の軽減法の解明と被害材活用法の確立	森林総合研究所	15	宝鉱石向け研磨加工工具の内製化手法の確立	工業技術センター	16	組み込みシステム向け開発環境の整備	17	製品開発における3次元デジタルデータの交換技術の確立	18	電解処理法による微細構造体作製技術の開発	富士工業技術センター	19	射出成形技術を用いた高性能新型燃料電池用セパレータの開発	20	射出成形金型の新規洗浄技術の開発	21	小型コショウランのオリジナル品種の育成及び生産者の栽培技術の確立	総合農業技術センター	22	花木鉢物の新商材の開発	23	野菜類の有機栽培技術の確立	24	「生食用ブドウ」新品種の育成	果樹試験場	25	モモの果肉障害発生抑制技術の確立	26	ブドウの着色向上技術の開発	27	抗生物質を使用しない高品質ブロイラー生産技術の確立	畜産試験場	28	自然公園内における湖沼の水質の向上に関する研究	衛生公害研究所 環境科学研究所 水産技術センター	29	自然環境のもたらす保健休養上の効用に関する研究	環境科学研究所 工業技術センター	30	野生動物による被害の防除に関する研究	環境科学研究所 森林総合研究所 水産技術センター	31	酸化亜鉛透明導電膜の成膜プロセス開発と有効活用に関する研究	工業技術センター 富士工業技術センター	32	地域農産素材等の機能的解明と高付加価値製品の開発	酪農試験場	33	ブドウ絞り滓を活用した家畜排せつ物の堆肥化および環境負荷低減化技術の開発	環境科学研究所 富士工業技術センター 総合農業技術センター 畜産試験場	34	人工光利用による施設栽培ブドウの高品質化技術の開発	果樹試験場 工業技術センター	35	甲府盆地飲用地下水を中心とする水質特性の時系列解析および新規地下水調査	衛生公害研究所 環境科学研究所 富士工業技術センター
	研究テーマ	試験研究機関																																																																																													
1	人工衛星データを用いた緑被率推定手法の開発及び都市環境の変化と緑被率の関係の解明	環境科学研究所																																																																																													
2	甲州種ワインの高品質化に向けた栽培・醸造条件の確立	工業技術センター																																																																																													
3	鉛フリーはんだ実装基板に対する信頼性試験データの蓄積と県内企業への普及																																																																																														
4	燃料電池用金属セパレータの性能向上																																																																																														
5	電子ビーム照射処理による新たな金型表面処理法の開発	富士工業技術センター																																																																																													
6	プラスチック廃棄物の粉体化技術の開発と廃プラスチック再利用化の促進																																																																																														
7	肥料の適正使用に活用できる支援システムの開発	総合農業技術センター																																																																																													
8	本県産スイートコーンのブランド化実現のための鮮度保持手法と品質評価技術の開発																																																																																														
9	温暖化に伴うオウトウの生産安定技術の開発	果樹試験場																																																																																													
10	ブドウの「かすり症」発生抑制技術の確立																																																																																														
11	夏季の高温環境と心理的ストレスによる健康影響の解析と熱中症警報システムの構築	環境科学研究所																																																																																													
12	富士山火山防災のための観測・データ収集と溶岩流シミュレーションの開発																																																																																														
13	木質内装材が人の心と体に与える影響の解明																																																																																														
14	緊急を要する森林虫害の軽減法の解明と被害材活用法の確立	森林総合研究所																																																																																													
15	宝鉱石向け研磨加工工具の内製化手法の確立	工業技術センター																																																																																													
16	組み込みシステム向け開発環境の整備																																																																																														
17	製品開発における3次元デジタルデータの交換技術の確立																																																																																														
18	電解処理法による微細構造体作製技術の開発	富士工業技術センター																																																																																													
19	射出成形技術を用いた高性能新型燃料電池用セパレータの開発																																																																																														
20	射出成形金型の新規洗浄技術の開発																																																																																														
21	小型コショウランのオリジナル品種の育成及び生産者の栽培技術の確立	総合農業技術センター																																																																																													
22	花木鉢物の新商材の開発																																																																																														
23	野菜類の有機栽培技術の確立																																																																																														
24	「生食用ブドウ」新品種の育成	果樹試験場																																																																																													
25	モモの果肉障害発生抑制技術の確立																																																																																														
26	ブドウの着色向上技術の開発																																																																																														
27	抗生物質を使用しない高品質ブロイラー生産技術の確立	畜産試験場																																																																																													
28	自然公園内における湖沼の水質の向上に関する研究	衛生公害研究所 環境科学研究所 水産技術センター																																																																																													
29	自然環境のもたらす保健休養上の効用に関する研究	環境科学研究所 工業技術センター																																																																																													
30	野生動物による被害の防除に関する研究	環境科学研究所 森林総合研究所 水産技術センター																																																																																													
31	酸化亜鉛透明導電膜の成膜プロセス開発と有効活用に関する研究	工業技術センター 富士工業技術センター																																																																																													
32	地域農産素材等の機能的解明と高付加価値製品の開発	酪農試験場																																																																																													
33	ブドウ絞り滓を活用した家畜排せつ物の堆肥化および環境負荷低減化技術の開発	環境科学研究所 富士工業技術センター 総合農業技術センター 畜産試験場																																																																																													
34	人工光利用による施設栽培ブドウの高品質化技術の開発	果樹試験場 工業技術センター																																																																																													
35	甲府盆地飲用地下水を中心とする水質特性の時系列解析および新規地下水調査	衛生公害研究所 環境科学研究所 富士工業技術センター																																																																																													

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
5 産学官の連携による研究開発の推進  【企画課】	千円 企画総務費 ( 194,850) 80,419 [ 89,270]  工業試験費 ( 2,995) 2,272	<p>新産業の創出に向け、山梨大学を中核に県立試験研究機関や関連技術を有する企業等が連携し、分散型クリーンエネルギーシステムの構築などを目指した研究開発を推進するとともに、県内にある技術シーズを産学官で連携して事業化するための取り組みを推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分散型クリーンエネルギーシステムの共同研究             <ul style="list-style-type: none"> <li>都市エリア産学官連携促進事業</li> <li>燃料電池用セパレータの開発</li> <li>燃料電池システムの実証実験等</li> <li>産学官シンポジウムの開催</li> </ul> </li> <li>燃料電池研究を支援するための研究施設整備</li> <li>地域技術事業化推進会議             <ul style="list-style-type: none"> <li>部会（やまなし燃料電池推進会議）の開催 3回</li> </ul> </li> </ul>
6 情報通信産業への支援  【情報産業振興室】	情報管理費 ( 76,440) 62,834	<p>今後さらなる発展が見込まれる情報通信産業の振興や企業誘致を図るため、事務所や情報通信機器の整備を支援するとともに、情報通信産業の振興策や人材育成策などを検討した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報通信関連企業立地への支援 5件</li> <li>山梨県ICT産業推進協議会の開催             <ul style="list-style-type: none"> <li>全体会議 3回</li> <li>分科会 4回</li> </ul> </li> </ul>
7 若者チャレンジへの支援  【労政雇用課】	雇用対策費 ( 2,024) 682	<p>若者の正社員就職と職場定着を支援するため、ジョブカフェ利用者や企業を対象としたセミナーや交流会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若者に対するチャレンジ就活講座の開催 4回             <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者 47人</li> </ul> </li> <li>企業に対する若者職場定着セミナーの開催 2回             <ul style="list-style-type: none"> <li>参加企業 70社</li> </ul> </li> <li>若者と企業のチャレンジ仕事広場の開催 4回             <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者 87人 参加企業 28社</li> </ul> </li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
8 産業集積の促進  【産業立地推進課】	千円 企業立地対策費 ( 82,904) 74,751	<p>県、市町村を中心に地域が緊密に連携して、本県の特性と強みを活かした産業集積の形成・活性化を図るため、国の支援も活用しながら本県独自の産業集積を促進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨県企業立地基本計画の推進</li> <li>・産業集積促進助成金の運用</li> </ul>
9 企業誘致の推進  【産業立地推進課】	———	<p>活力ある産業の集積と雇用の拡大による本県産業経済の活性化を図るため、製造業を中心に、将来性のある優良な企業の誘致を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業立地成功報酬制度の運用</li> <li>・やまなし産業立地コミッションの運営</li> <li>・県内外の企業訪問 延べ 554 社</li> </ul>
10 物流・交流拠点の形成  【知事政策局】 【産業支援課】	企画総務費 ( 3,414) 3,414  商工振興費 ( 200) 112	<p>中部横断道の開通を視野に入れながら、地域特性を踏まえた物流・交流拠点の形成に必要な施策を計画的に推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中部横断道沿線地域活性化構想の策定</li> </ul> <p style="text-align: right;">平成 21 年 3 月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨県物流対策研究会の開催 2 回</li> </ul>



## 「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	2	「力みなぎる・やまなし」の実現
----------	---	-----------------

政策	6	競争力のある商業の振興	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	8	
<p><b>【政策推進に当たっての基本的考え方】</b>          商業の活性化を図るためには、多様化する消費者ニーズに対応した個性豊かな商店街づくりなどを促進することが求められています。このため、中心市街地の再生を進め、商店街の活性化、にぎわい創出を図るとともに、空き店舗の解消等を進めます。</p>					
平成20年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 大規模集客施設の立地に関する方針の運用		P.48	商工労働部	
	○ 商店街活性化への助成		P.48	商工労働部	
	○ 中心市街地での街路整備		P.48	県土整備部	
	○ 甲府市紅梅地区市街地再開発への支援		P.49	県土整備部	
	○ ヴァンフォーレ広場の試行的実施		P.49	企画部	
	○ 電線類地中化の推進		P.49	県土整備部	
	○ 商店街空き店舗解消への支援		P.49	商工労働部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			16,274 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			9,909 百万円	
	前年度までの事業費			4,505 百万円	
	本年度の事業費			5,404 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	年間商品販売額増加商店街数	27 地区 (H16)	32 地区 (H21)	27 地区 (H19)	0.0

## 主要な施策の成果

施策・事業名 <b>【担当課名等】</b>	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
1 大規模集客施設の立地に関する方針の運用  <b>【商業振興金融課】</b>	千円 ———	大規模集客施設の立地に関し適切な対応を図るため、平成19年度に策定した方針に基づき、設置者に対し立地計画の早期届出や地域貢献活動の実施を求めた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・立地計画の届出 3件</li> <li>・地域貢献活動基本計画の提出 3件</li> </ul>
2 商店街活力再生への支援  <b>【商業振興金融課】</b>	商工振興費 ( 12,000) 6,089	商店街の活力を再生させるため、市町村や商工会等が行うイベントの開催や商店街の施設整備などに対して支援した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街活性化イベントの開催や、街路灯整備等への助成 11団体</li> </ul>
3 中心市街地活性化の促進  <b>【商業振興金融課】</b>	商工振興費 ( 2,451) 588	事業者、地域住民等による中心市街地の活性化を促進するため、中心市街地活性化協議会の構成員である商工会議所が行う活性化事業に対して支援した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心商店街ポイントカード事業の実施や中心商店街活性化イベントの開催への助成 1団体</li> </ul>
4 円滑な交通環境の確保  <b>【都市計画課】</b>	街路事業費 ( 6,944,990) 4,470,003 [ 2,474,987]	甲府市などの中心市街地やその周辺地域において、円滑な交通環境を確保するとともに、市街地の活性化や都市防災機能の向上を図るため、街路の整備を行い、魅力ある街並みを形成した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・街路の整備               <ul style="list-style-type: none"> <li>愛宕町下条線（富士見工区） 延長 0.3 km</li> <li>中央通り線 延長 0.6 km</li> </ul> </li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
5 甲府紅梅地区市街地再開発への支援  【都市計画課】	千円 都市計画総務費 ( 245,165) 245,165	甲府市中心市街地において、住宅などの環境整備や施設の機能更新、地区の高度利用を促進するため、甲府紅梅地区市街地再開発組合に助成する甲府市に対して支援した。  ・再開発ビルの建設 建設工事着手
6 ヴァンフォーレ広場の設置  【企画課】	企画総務費 ( 1,000) 997	中心市街地を活性化するため、「ヴァンフォーレ甲府」をテーマに県民が交流する「広場」を地域が主体となって運営する仕組みについて検討し、ヴァンフォーレ広場を設置した。  ・ヴァンフォーレ広場の試行的実施 パブリックビューイング 関連イベント
7 安全で快適な道路空間の形成  【道路管理課】	道路橋りょう建設費 ( 957,676) 662,924 [ 294,752]	商店街などにおける限られた空間を有効活用し魅力ある景観を創出するとともに、安全で快適な道路空間を形成するため、電線類の地中化を推進した。  ・電線類の地中化 国道 358 号（甲府市中小河原地内） 外 4 路線 延長 1.3 km
8 商店街空き店舗活用への支援  【商業振興金融課】	商工振興費 ( 4,000) 2,870	商店街の賑わいを創出し空き店舗の解消を図るため、市町村や商工会等が行う空き店舗を活用した事業などに対して支援した。  ・創業セミナーや家賃補助など空き店舗への出店促進や、空き店舗を活用した大学生のまちづくり拠点等への助成 5 団体

